

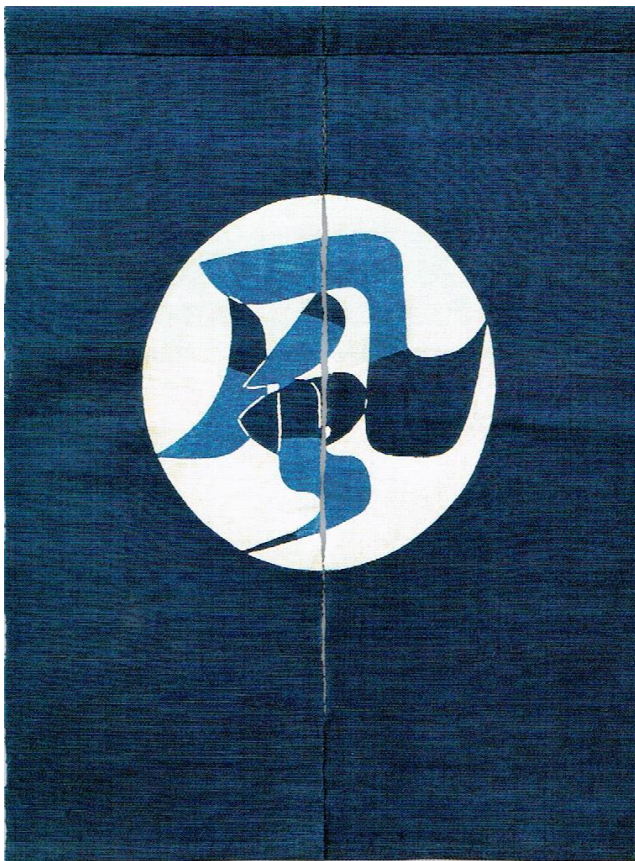
楽しく伝える 文字のデザイン

言葉のイメージを考えてつろう

私たちの身の回りにはたくさんの文字があふれています。店の看板、商品のパッケージなどを意識して見てみると、そこに使われている文字は、形や色にさまざまな工夫がされていることに気づきます。文字のデザインによって、伝えるものの印象は、大きく変わります。

言葉の意味やイメージから文字のデザインを考え、見た人に効果的に伝わるように工夫して表現しましょう。

風の字麻地型染のれん [型染・木綿/91.3×68.5cm]
1977 大原美術館蔵[岡山県]
芹沢銈介[静岡県・1895～1984]
文字の形を生かして、風のイメージをデザインしている。のれんの間から実際に風が通った時、文字が揺らめく面白さがある。



学びのねらい

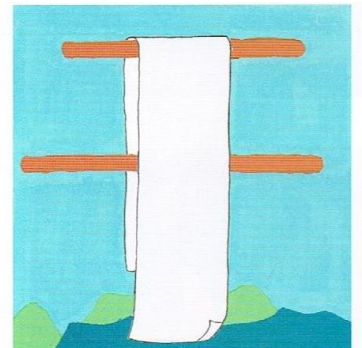
- 生活の中にあるさまざまな文字のデザインに関心を持つ。
- 表現したい意図に合うように、文字の形や色の構想を練ろう。
- 文字の意味から形を考えたり、色をイメージしたりしながら、表し方を工夫しよう。
- デザインされた文字のよさを味わい、作者の意図と工夫を感じ取り話し合おう。



駅名標 海産物の豊富な阿字ヶ浦海岸(茨城県)沿いにある駅。貝、あんこう、釣り針、海藻が描かれている。



生徒作品 **帆**
[加工粘土・園芸用パイプ・針金/
23×12×17cm]



生徒作品 **干す**
[アクリル・ペン・紙/15×15cm]



生徒作品 **舌を巻く**
[鉛筆・ペン・紙/19×26.8cm]